

# 設置 ①

VM10 コネクター型(旧型)



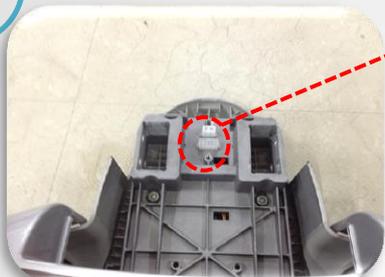
VM10 円形コネクター(新型)



# 設置 ②—1

## VM10コネクタ一型(旧型)設置方法

1



2



3



各々のワイヤーを結合する。正常コネクタの場合、「ガタッ」という音と共に結合される。  
※コネクタ結合後、ワイヤーが抜けないようにボディを持ち上げてプレートに結合

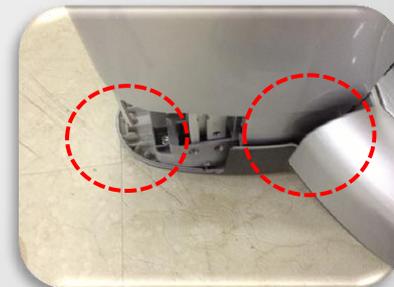
プレートに二つのコネクタの状態を確認する。特に、ポピンワイヤコネクタが内側に入っていないか、乱れていないか確認する。(ロングノイズや道具を使って取り出したりきれいに整える)

ボディ下端部フロントの内側からワイヤーを取り出す。コネクタ二つを確認する。

5



4



ボルト左右、全6つを結合。

ボディのアルミニウムをプレートの溝に挟む。

6



図のように上の2つのボルトは、内側に入っており、下の一つのボルトはプレートと並んで位置するようになる。

※ボルトは力いっぱい締める。いっぱい締めないとボディが揺れる症状があり、騒音が発生する可能性があります。

正常結合状態  
若干のギャップが発生する恐れがある。

# 設置 ②-2

SONIX

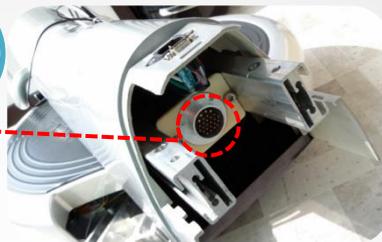
## VM10 円形コネクター(新型)設置方法

1



円形コネクター

2



3



サポ-ト(support)

ボディ-をもつてプレート-の円形コネクター-とアルミニウムサポ-ト-のガイド部-のプロファイル-を合わせて接続する。

プレート-とボディ-の円形コネクター-を確認

6



ボルト締結が完了された後、Bottom coverを付ける。

5



ボルトは左右、全4つを締結させる。

4



ボディ-のアルミニウムをプレート-の溝に挟む。

※ボルトは力強く締める。強く締めなければボディ-が揺れる症状があり、騒音が発生する可能性がある。

# 設置 ③

ご注意

7



8



電源コードを接続する際、電源ボタンだけ青色のLEDが入る。



O



X

※ご注意  
ボディー裏部分のプラスチック(ABS)部分がプレートのプラスチック(ABS)に当たらないように注意する。

ボトムカバー(Bottom Cover)結合後に電源コードを接続



ボディーケース(Body Case)がプレートにかかっている場合、手で押して、図のようにプレートケースに押されて入るようにする。

# 水平確認



前後に水平状態を確認



左右に水平状態を確認

# 作動方法

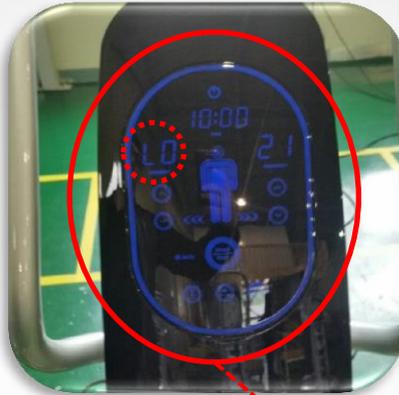
1



電源ボタン(LED)

電源ボタンを押すと「ピン」の音とONになる

2



ONになると同時に全身自動モード

3



強度表示 LO、HL、HIの3段階で構成(自動モード)

5



4



## MODE

- 1.電源ボタンを押すと「全身」自動モード
- 2.MODEボタンを押すと「手動使用者」モード
- 3.「手動使用者」モードでMODEボタンを押すと「下半身」自動モード
- 4.「下半身」自動モードでMODEボタンを押すと「腹部」自動モード
- 5.「腹部」自動モードでMODEボタンを押すと「肩・腕(上半身)」モード
- 6.「肩・腕(上半身)」モードでMODEボタンを押すと、再び「全身」自動モードに戻る